

音響テクニカル・アーティスト科

昼間部・3年制

シラバス

全設置授業科目数	66	うち実務教員授業科目総数	46
全設置授業時間数	2978	うち実務教員授業時間数	1978
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業科目数			240
法令で定める基準授業時数シラバス提出分の授業時数			248

1 年次 音響テクニカル・アーティスト科 【1 T A】

系列	授 業 科 目	授業時数		単 位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
共通科目	基礎知識習得トレーニング	30	4	2	近 藤 ほ か					
	文 章 検	8	8	1	近 藤					
	音 響 用 語	28		1	楠 元 ほ か	○	28			
	音 響 概 論	16		1	原 田	○	16			
	電 気 電 子 の 基 礎	16		1	末 永	○	16			
	電 気 音 声 信 号		16	1	照 井	○	16			
	音 響 機 器 I	22		1	照 井	○	22			
	音 楽 史	32		2	松 山	○	32			
	舞 台 機 構 講 座	8	16	1	見 上・吉 井	○	24			
	映 像 音 響 検 定 講 座		16	1	永 谷	○	16			
	効 果 音 制 作		20	1	石丸・吉井・金子	○	20			
	演 習 企 画 立 案 / シ ナ リ オ	10	10	1	見 上	○	20			
	パ ッ ケ ー ジ メ デ ィ ア 研 究	18	18	2	見 上・塩 田	○	36			
	英 語	20		1	コールマン・見上					
	演 習 音 響 工 作	24		1	近 藤	○	24			
	演 習 機 器 オ ペ レ ー シ ョ ン I	32	4	2	近 藤					
	演 習 機 器 オ ペ レ ー シ ョ ン II	12	12	1	楠 元・溝 淵					
	実 習 サ ウ ン ド モ ニ タ リ ン グ	36		1	波 多 腰	○	36			
	O n g e i 実 技 判 定	10	10	1	近 藤					
	演 習 ク リ エ イ テ ィ ブ ソ フ ト ウ ェ ア 実 技 I	28	32	4	楠 元・波 多 腰	○	60			
専門科目	照 明 概 論	16		1	赤 本	○	16			
	聴 能 形 成	8	8	1	見 上	○	16			
	音 場 入 門 I		16	1	中 原	○	16			
	演 習 ダ ビ ン グ ミ ッ ク ス		32	2	波 多 腰	○	32	☆	32	
	音 響 機 器 II		16	1	楠 元	○	16			
	ス タ ジ オ 実 技 判 定		16	1	楠 元	○	16			
	演 習 レ コ ー デ ィ ン グ 技 法		20	1	波 多 腰	○	20			
	P A シ ス テ ム	16	16	2	後藤・高橋(宏)	○	32	☆	32	
	音 響 機 器 実 技 判 定		16	1	近 藤					
	演 習 ホ ー ル S R I		16	1	加 藤	○	16			
	演 習 ス テ ー ジ 課 題 制 作		64	4	吉 井・近 藤	○	64			
総合・その他	電 気 音 響	8	8	1	田 村	○	16	☆	16	
	演 習 コ ン ク ー ル 審 査 音 源 制 作 I	8	8	1	見 上	○	16			
	ワ ー ク ・ ラ イ フ オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	4	4		各 担 当					
	研 修 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	4			各 担 当					
	企 業 研 究	2	2		進路指導部					
	ワ ー ク ガ イ ダ ン ス	2	4		各 担 当					
	ゼ ミ ナ ー ル		60		各 担 当					
	企 業 イ ン タ ー ン シ ッ プ		16	1	各 担 当					
	ガ イ ダ ン ス	12	8		近 藤					
	合 計	430	496	46		642	80			

2年次 音響テクニカル・アーティスト科 【2TA】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
共通科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論	28		1	桑原・巻島 磨知・加島 砂川	○	28			
	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ	24		1	永谷・波多腰 高橋(喜)	○	24			
	映 像 制 作 概 論	16		1	港	○	16			
	映 像 音 響 検 定 講 座 Ⅱ	16		1	永 谷	○	16			
専門科目	音 場 入 門 Ⅱ	32		2	中 原	○	32	☆	32	
	立 体 音 響 演 習	16		1	中 原	○	16			
	演 習 マ ス タ リ ン グ	16		1	森 崎	○	16	☆	16	
	演 習 M A	40		1	内村・田中	○	40			
	実 習 映 像 音 響 制 作	60		2	水野・高橋(喜)	○	60			
	演 習 マルチトラックレコーディング	22		1	楠 元	○	22			
	演 習 スタジオレコーディング	16		1	塩 田	○	16			
	P A シ ス テ ム Ⅱ	16		1	小 松 ほ か	○	16			
	演 習 ホ ー ル S R Ⅱ	26		1	高 橋 (宏)	○	26			
	演 習 機 器 オ ペ レ ー シ ョ ン Ⅲ	24		1	高橋(喜)ほか					
	演 習 コンクール審査音源制作Ⅱ	8	8	1	見 上	○	16			
総合・その他	卒 業 制 作	32	560	25	高 橋 (喜)					
	ビ ジ ネ ス 実 務	16		1	高 橋 (喜)					
	ゼ ミ ナ ー ル	60			各 担 当					
	ガ イ ダ ン ス	8	8		高 橋 (喜)					
	合 計	476	576	43		/	344	/	48	

3年次 音響テクニカル・アーティスト科 【3TA】

系列	授 業 科 目	授業時数		単位	担 当	実務教員による授業		シラバス添付の授業		備 考
		前期	後期							
専門科目	実 習 ラ イ ブ レ コ ー デ ィ ン グ	60	60	4	見 上 ・ 楠 元	○	120	☆	120	
	音 響 コ ー チ ン グ 演 習	16	16	2	見 上 ・ 楠 元	○	32			
	実 習 課 題 レ コ ー デ ィ ン グ	30	30	2	楠 元	○	60			
	実 習 課 題 ミ ッ ク ス ダ ウ ン	30	30	2	楠 元	○	60			
	研 究 課 題 制 作 I	360		12	楠 元	○	360			
	研 究 課 題 制 作 II		360	12	楠 元	○	360			
その他・総合	ガ イ ダ ン ス	4	4		楠 元					
	合 計	500	500	34		/	992	/	120	

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	基礎知識習得トレーニング				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	34	単位	2
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	—			
授業概要	履修科目のうち特に専門性の高い分野や学問的知識の必要となる内容の各種基礎知識について学ぶ。						
到達目標	これから学ぶ履修科目の内容の中で必要となる専門知識の基礎を築く。						
授業計画 学習内容	・ 数学（中学・高等学校基礎数学の復習） ・ 電気（中学・高等学校基礎数学の復習） ・ 物理（音響分野関連の基礎物理知識） ・ PC関係（基礎システム、用語等） ・ 音楽（読譜、楽典等） ・ 一般教養						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	文章検				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	—			
授業概要	他人とのコミュニケーションを円滑に行える能力を鍛える。						
到達目標	実社会において役立つ文章読解力、及び文章作成力を身につける。 (文章読解・作成能力検定 3 級程度)						
授業計画 学習内容	・ 語句の正しい用法や意味、敬語等の学習。 ・ テーマに即した意見文を書けるようになる。 ・ 就職活動時自己PRの作成方法。 ・ メールや言葉使いなど、ビジネスマナー。 ※文章検（文章読解・作成能力検定）3 級の教科書を使用						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題の提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	音響用語				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	28	単位	1
担当教員	楠元剛史ほか		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	レコーディングスタジオで使われている技術用語を中心に、音響業務従事者の使う用語について、原理を含めて易しく解説を行う。						
到達目標	専門用語を知る。同じ用語に違う意味があることを知る。厳密な記憶ではなく概要をアバウトにとらえる。						
授業計画 学習内容	・マイクロホンと收音技術に関する用語 ・ミキシングルームで日常使っている技術用語 ・マルチチャンネル録音に関する用語 ・サウンドエフェクタの基本原理と機能に関する用語 ・デジタル技術に関連する基礎知識と用語						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	音響概論				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	原田 崇		担当教員 実務経験	元ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株)セールスエンジニア。音響機器メンテナンスの経験豊富。			
授業概要	「音とはなにか」をテーマにその学術的知識を深める。						
到達目標	音の特性について学術的（物理的概論）に理解する。						
授業計画 学習内容	・ 音の大きさ、速さ ・ 周波数、音色 ・ 特性定位 ・ 反射、回折、屈折 ・ 音の理論 ・ 音の出る仕組み						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	電気電子の基礎				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	末永信一		担当教員 実務経験	SONY(株)にてリサーチャー、エンジニアとして長年勤務。現在は（一社）日本オーディオ協会専務理事			
授業概要	本校実習授業でも扱う音響映像機器の動作に必要な「電気」とは何かを知る。						
到達目標	電気電子の基礎知識を習得すると共に、問題意識を持って動作の想像力を養う。						
授業計画 学習内容	・ オームの法則 ・ 直流、交流について ・ 絶縁体、誘導体、半導体について ・ アナログとデジタル ・ 映像、音声について						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	電気音声信号				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	電気、回路、機器についての学術的知識を深める。						
到達目標	電気、回路、機器についてより高度な内容を学び、各専門科目に応用できる知識を習得する。						
授業計画 学習内容	・ オームの法則 ・ アース/接地 ・ 補助記号 ・ 平衡と不平衡 ・ インピーダンス ・ 電気部品、パーツ ・ 音響回路 ・ ダイナミックレンジとSN（シグナル・ノイズ比） ・ 各種レベルメーター						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	音響機器Ⅰ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	22	単位	1
担当教員	照井和彦		担当教員 実務経験	SONY(株)にてオーディオ商品の設計、広報、技術渉外等を行う。2015年よりオーディオ協会事務局長歴任。			
授業概要	音響業務で使用する機材について学ぶ。						
到達目標	音響機材の仕組みや構造を業務レベルで理解できるようになる。						
授業計画 学習内容	・スピーカーシステム ・ミキシングコンソール ・マイクロホン ・パワーアンプ それぞれの音響機器の仕組み・構造・設計・ブロックダイアグラムの見方等						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	効果音制作				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	石丸耕一 吉井真 金子智充		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄に記載			
授業概要	効果音の役割・使い方・作り方						
到達目標	制作実習・卒業制作で台本を読み解き、効果音を制作できるようになる						
授業計画 学習内容	●効果音の役割と使い方と作り方の説明。台本の読み解き方・演出をシュミレートする。 担当：吉井 実務経験：映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。 ●効果音の作成方法について。レクチャー後は学生が実際に効果音を作成し、録音したコンテンツを試聴してみる。 担当：石丸 実務経験：舞台音響家として歌舞伎座、新橋演舞場などで伝統芸能や商業演劇の音響に従事。東京芸術劇場統括。 ●ゲームの効果音について。サウンドデザインの企画や演出、ゲームサウンドの制作行程について実務経験をもとにレクチャーする。 担当：金子 実務経験：ゲームコンテンツ制作会社でサウンドデザイナーとして勤務。						
成績評価 方法	100点を満点とし、演習評価・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 企画立案／シナリオ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	制作会社にて万国博上映動画の企画制作、音楽 ライブイベントの企画制作に長年従事			
授業概要	企画の立て方、企画書作成法、様々な媒体によるシナリオフォーマットについて学ぶ						
到達目標	企画立案、企画書作成、シナリオ作成とシナリオの読み解きができるようになる						
授業計画 学習内容	●企画や企画書はなぜ必要か ●ブレインストーミング演習 ●企画の5W1H ●企画書作成演習 ●シナリオの各種フォーマット ●シナリオ作成演習（動画、音声ドラマ）						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	パッケージメディア研究				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	36	単位	2
担当教員	見上陽一郎 塩田修		担当教員 実務経験	制作会社にて万国博上映動画の企画制作（見上）、レコーディングエンジニアとしてSony Music勤務後フリーランスで活躍（塩田）			
授業概要	音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を学び、作品の鑑賞、分析を行う						
到達目標	音楽ソフト、動画ソフトの制作手法を知り、鑑賞力を高める。						
授業計画 学習内容	1.音楽ソフトの制作工程 2.音楽ソフトの鑑賞と制作手法の分析 3.動画の単位 4.ショットの決定要素と名称及び心理的効果 5.モンタージュの基礎 6.動画作品における音の演出法 7.ドキュメンタリー作品をめぐる考察						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	英語				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	20	単位	1
担当教員	ブレット コールマン 見上陽一郎		担当教員 実務経験	—			
授業概要	簡単な英会話、英語の聞き取りを反復的に演習						
到達目標	英語に対する苦手意識を軽減し、制作現場で英語でコミュニケーションを取る勇氣と自信を醸成する						
授業計画 学習内容	●英語での自己紹介 ●簡単な会話の聞き取りと意味、文法解説 ●英語楽曲のディクテーション 担当講師紹介： 米国シアトル出身、来日後３５年にわたり俳優英語教師として活動						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記および実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 音響工作				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	バンケット設備管理実務に従事。			
授業概要	一般的な工具の使い方。はんだ付けの練習。ケーブル作成。						
到達目標	工具の使い方を知る。 音響機器用ケーブルを作成できるようになる。						
授業計画 学習内容	(1) 一般的な工具の説明 (2) 工具を実際につかってみる (3) 各種ケーブル、端子の構造について (4) はんだに慣れていく (5) ケーブルをつくってみよう (6) テスト（1.5mのXLRケーブル提出） （番外編）簡易スピーカーを作ってみる。						
成績評価 方法	100点を満点とし、提出物の出来栄および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅠ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	36	単位	2
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	—			
授業概要	各実習に先立ち、基本的な音響機材の名称や使用法を学ぶ。（前半） 遠隔講義、座学、各演習で習得した技術を実践する。（後半）						
到達目標	基本的な技術の習得と実践を通し、学生の自主性、コミュニケーション能力を鍛える。						
授業計画 学習内容	（前半） ・ ケーブル、コネクタ、端子等の名称 ・ ケーブル巻き ・ 音響卓の使い方 ・ マイクスタンドの扱い方 ・ 回線チェックのやり方 ・ エフェクターの使い方 （後半） ・ 学内実習施設での演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅡ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	24	単位	1
担当教員	楠元剛史 溝淵友香莉		担当教員 実務経験	—			
授業概要	学内実習教室の使用法説明						
到達目標	学生が主体となり安全な学内実習施設の使用を目論む						
授業計画 学習内容	・LiveQ教室（演劇・ミュージカルの音響および照明技術等実習教室）説明 ・本館801教室（音楽イベントの音響および照明技術等実習教室）説明 ・本館9Fスタジオ（音楽レコーディング等実習スタジオ）説明 ・メディアセンター地下スタジオ（映像音響等実習スタジオ）説明						
成績評価 方法	授業への積極的な参加・出席状況にて評価し単位を付与						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	実習　サウンドモニタリング				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	36	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。			
授業概要	音を聞く、收音する、記録する、編集する といった基礎的な音響作業の習熟						
到達目標	音のモニタリング能力を開拓 フィールドワーク機器を用いた録音作業の習得 ノンリニア編集による作品作成過程の習得						
授業計画 学習内容	各作業におけるモニタリング ・音のモニタリングについて サウンドドラマ素材のためのロケ実習 ロケを通じた收音、録音作業習得 ・マイクロホン使用法 ・レコーダー使用法 ・ロケ実習 ProToolsを用いた音源制作作業 ・音源制作実習						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品提出課題と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	Ongei実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	基礎的音響作業の習熟を図る。各項目の作業習得のため反復練習を行う。						
到達目標	音響作業に共通する初歩的動作の習得 3級舞台機構調整技能士実技試験への準備						
授業計画 学習内容	ケーブル巻き(8の字)習得 マイクスタンドの実務的活用を習熟 各種チェック作業の習得						
成績評価 方法	実技判定試験により100点満点で採点						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅰ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	54	単位	3
担当教員	楠元剛史 波多腰英靖		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画欄に記載			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る						
到達目標	コンピューター環境でのデータ管理習熟 ProToolsを用いた録音、編集、ミックス作業の習得						
授業計画 学習内容	Apple製デスクトップコンピューターでのデータ管理方法演習 ProToolsを用いて演習課題へ取り組む ・ProToolsData構築 ・ProToolsでの録音作業 ・ProToolsでの編集作業 ・ProToolsを用いての課題提出 担当教員の实務経験： ・2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部に てディレクター業務。（楠元） ・年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級 舞台機構調整技能士。（波多腰）						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出や授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点 以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	照明概論				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	赤本龍太		担当教員 実務経験	長年に渡り、ライブハウスの照明技術、音楽ライブ・演劇の照明デザイナーとして活躍。			
授業概要	ライブ照明と舞台照明の違いの説明、及び照明機材、灯体の説明。 遠隔講義での学習内容を踏まえ、実際に機材を使ってオペレーションをする。						
到達目標	照明機材の名称、使用法を理解し、場面に合わせたオペレーションを考えることができる。						
授業計画 学習内容	遠隔講義 ・ 照明技士の仕事、現場における役割 ・ 仕込みの手順説明 ・ 灯体の種類、照明機材の分類、設置位置による名称 実演 ・ ライブ、舞台による照明アプローチの違い ・ ライブ照明用指示シートの読み方、書き方 ・ 舞台台本の照明デザイン ・ 照明卓の操作説明						
成績評価 方法	100点を満点とし、提出物および出席点などの総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	聴能形成				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	「聴能トレーニングCD」（キングレコード） の制作を指揮、発売			
授業概要	音を聴き分ける能力を様々なトレーニング音源の聴き取り演習と、それに関する音響学的な解説を行う						
到達目標	音響技術者。音響コンテンツクリエイターに必要な音の聴き分け能力と関連知識を身に付ける						
授業計画 学習内容	毎回、技術解説とともに、聴能トレーニング用音源を教室内で再生し、答え合わせを行う。 ・ピッチの弁別 ・周波数の識別 ・音圧の弁別 ・音色の弁別 ・リズムパターンの弁別 ・音程の弁別 ・読譜聴音 ・連音の記憶 など						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	音場入門Ⅰ				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	中原雅考		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役			
授業概要	音という物理現象を学ぶための基礎を学ぶ						
到達目標	オブジェクト臨場感、フィールド臨場感を意識した 3Dシーンベースのミックスを作る						
授業計画 学習内容	01. 音とは？ 02. 音波の基本要素 03. 音場を構成している物理現象 04. 音場再現（Ambisonics） 05. 音場再現実習１：ReaperとAmbisonicsプラグインの基礎知識 06. 音場再現実習２：FOAエンコーディング（Ambisonics録音） 07. 音場再現実習３：FOAデコーディング（3Dミックス）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ダビングミックス				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	32	単位	2
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士			
授業概要	「生もの」としての音を認識し 「生ものとしての音」を扱うことに慣れる						
到達目標	サンプラーを用いてリアルタイムでの音響作業を体験する						
授業計画 学習内容	課題台本からの作品理解演習 サンプラー操作の習熟 ・SP404オペレーション ・abletonLive運用 サンプラー素材作成実習 ・ProToolsを用いた素材作成 発表形式でのダビングミックス						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品発表と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	スタジオ実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	本館9Fスタジオを使用し、音楽録音スタジオ設備や機材に関する理解を深める。音声信号の流れを理解する。ストレートトークの收音を想定し、セッティングから回線チェックまで一人で行えるようトレーニングする。						
到達目標	本館9Fスタジオにて一人でストレートトーク收音を想定した機材準備、回線チェックができる。						
授業計画 学習内容	・機材説明と現場の実際 ・音響技術業務における作業の流れ ・セッティングの基本 ・回線チェックのやり方						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験にて評価。60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 レコーディング技法				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	20	単位	1
担当教員	波多腰英靖		担当教員 実務経験	2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士			
授業概要	物理現象を電気信号に変換することについての理解を深め、マイクへの理解を深める 声の録音(収音) 楽器の録音(収音)						
到達目標	学生が主体となつてのマイク選定、マイクセッティングを目標とする						
授業計画 学習内容	マイクロホンの特徴理解のための実験 ・ 型番、構造的特徴、指向性 録音スタジオでの模擬ラジオ番組制作 ・ 音声収録実習 ・ リアルタイムプログラムの録音 ピアノ録音 ・ 楽器収録演習						
成績評価 方法	100点を満点とし、課題提出と授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	PAシステム				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	32	単位	2
担当教員	後藤高洋　高橋宏幸		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画欄に記載。			
授業概要	P A システムのプランニングのために必要な知識、具体例を学ぶ。学内での P A 実習を行う時に必要なプランニングが出来るように実際に図面を作成し、理解修得する。						
到達目標	仕込む際の工夫・注意点、トラブル時の対処を身を以て体感し、理解を深める。						
授業計画 学習内容	・ PAの仕事 ・ 回線表の見方 ・ セット図の見方 ・ 回線プラン ・ 信号の流れ ・ ステージ仕込み ・ 回線チェック ・ ミキサーから音を出す ・ 自分のプランで仕込む 担当教員の実務経験： ライブハウス運営会社にて長年PAエンジニアとして勤務後、フリーランスとして独立(後藤) PAエンジニアとして(株)サウンドマン（現・(株)ミックスゾーン）勤務後、現在SRテックプランニング代表。(高橋)						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	音響機器実技判定				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	近藤頌		担当教員 実務経験	—			
授業概要	舞台機構実技判定 3 級実技試験に向けた基礎訓練						
到達目標	舞台機構実技判定3級実技試験に合格できるようになる						
授業計画 学習内容	・ 班別（少人数）での個別指導 ・ 実技全体の流れを練習 1.仕込み 2.回線チェック 3.ナレーター案内（3～5のコミュニケーション） 4.サウンドチェックリハーサル 5.本番 6.ばらし/原状復帰						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ホールSR I				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	加藤晴美		担当教員 実務経験	(株)キャット、(株)クレア・ジャパンを経て 1998年に（有）ハルソニックを設立。			
授業概要	実践的なP Aについて機材に触れながら学ぶ。 学外施設を使用し、機材の搬入・設営・撤去・搬出を学ぶ。						
到達目標	ホールでの音響機材使用について体験し、理解を深める。						
授業計画 学習内容	・スピーカーチューニング ・プランニング ・コンソールの結線と使用法 ・舞台での搬入から搬出まで ・大型機材の設置 （スピーカの設置、客席へのコンソール設置）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ステージ課題制作				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	64	単位	4
担当教員	吉井 真 近藤 頌		担当教員 実務経験	映画スタジオに数年従事した後、舞台音響家歴30年以上。			
授業概要	プロの役者と共に、学生の照明と音響と舞台スタッフで舞台を作る						
到達目標	舞台制作の進め方を体験する						
授業計画 学習内容	●数班に分かれ、音響・照明・舞台スタッフを構成する。 ●プロの演出家と役者とともに、 打ち合わせ～ 稽古～ LiveQ仕込み～ 場当たり～ ゲネプロ を実践してみる。 ●プロと言葉を交わし、舞台制作に必要な段取りやコミュニケーションや照明・音響の知識・技術の必要性を感じさせる。						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習　コンクール審査音源制作Ⅰ				授業方法	演習	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	1995年より多数のクラシック音楽を録音			
授業概要	国内外の音楽コンクール用審査音源の収録、ミックス						
到達目標	良好な演奏を引き出すための演奏家とのコミュニケーション、機器の設営／操作への習熟、音の聴き分け能力育成						
授業計画 学習内容	1.演奏家との打ち合わせ 2. 収録システム案の作成 3. 収録機器の設営 4. リハーサル時間を利用しての音調整 5. 収録本番 6. 必要に応じて編集、マスタリング／オーサリング作業 7. 納品						
成績評価 方法	100点を満点とし、授業への取り組みおよび出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ワーク・ライフ オリエンテーション				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	8	単位	—
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	学内教職員による講話						
到達目標	各教員の職歴・現場経験を踏まえた講話を聴き、卒業後(進路)の自己イメージや適性について考えさせる。						
授業計画 学習内容	・音楽業界技術・制作職について ・放送業界技術・制作職について ・出演者（演奏者・俳優）の立場から見た制作現場 ・進路や就職について ・専門学校での学びへの取り組みについて ・目標設定						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	研修オリエンテーション				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業時数	4	単位	
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	学内教員による講話とオリエンテーションによる新入生交流						
到達目標	専門学校で学ぶにあたっての心構え醸成と、新入生の交流促進						
授業計画 学習内容	1. 学内教員による講話 2. クラス／班に分かれて、学校周辺のオリエンテーション 3. レポート作成						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	企業研究				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	4	単位	—
担当教員	進路指導部		担当教員 実務経験	—			
授業概要	本学の学生が興味を持つような、音響や照明、レコーディング、マスタリング関連会社の関係者を招き、特別講義をしていただく。						
到達目標	本学学生の就職目標となる各業種の職種やその職務内容を知り、自己の適性やその職種を目指すための学習計画や心構えを構築する。						
授業計画 学習内容	・音楽コンテンツ技術制作関連企業関係者による講義 ・舞台技術制作関連企業関係者による講義 ・放送技術制作関連企業関係者による講義 ・専門機器取扱い企業やメーカー企業関係者による講義 ・企業訪問 音楽録音スタジオ 映像編集スタジオ PA技術会社 劇場／ホール 等						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ワークガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	6	単位	－
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	－			
授業概要	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
到達目標	音響／映像／舞台の制作、制作技術の現場について、その仕事内容、スタッフの種類、求められる適性などを知る						
授業計画 学習内容	1. コンサート／演劇音響 2. レコーディングエンジニア 3. 放送音声（音声収録／音響効果選曲／MA） 4. 映画音響 5. 動画撮影 6. 動画編集 7. 舞台照明／舞台装置 8. 制作／演出						
成績評価 方法	－						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ゼミナール				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	60	単位	—
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	ゼミナールは原則として金曜日の午後に実施し、昼間部学生は下記より1つを選択することができる。各ゼミナールの定員は10名。						
到達目標	各ゼミナールの到達目標は下記の授業計画学習内容に記載。						
授業計画 学習内容	● 工学ゼミ（資格取得研究会）：第一級陸上特殊無線技士、第二級陸上無線技術士などの、資格取得のための研究会。電気回路、電子回路、無線工学、法規を学び、問題集を使う。マスコミ、放送局に就職するための有利な条件になる。 ● 録音・SRシステムゼミ：業務用機器を対象にその調整や測定法などを習得して、機器の基本的構造・性能を熟知すると共に、新しい技術やシステムに対する理解を深める。また、ミキシング実習を通して実務に必要な音楽センスやサウンド処理技術を学ぶ。 ● 英会話・国際交流ゼミ：ゲームなどを通して楽しく英会話を学び、英語での簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目的とする。また、東京在住の外国人が参加するイベントやパーティーにも機会をとらえて参加する。なお、ゼミ中の日本語使用は原則的に禁止。 ● ボーカルトレーニングゼミ：歌の練習を通じて、歌唱力の向上はもとより、アーティストのみならず、音に関わる仕事すべてに必要な「音感」を養う。 ● 映像ゼミ：ショートムービー制作を行う。各自の企画から優れたものを選び、映像制作の工程を学ぶ。脚本や画コンテを作成し、監督をはじめとする各役割を分担し撮影作業を進める。ポストプロダクション作業を経て作品を完成させる。 ● 演劇ゼミ：ゼミ発表会に向けて、芝居に必要な体力作りや舞台の作り方を学ぶ。音響・照明・美術・衣装・メイクなども自分たちで考え本格的な芝居作りに取り組んでいく。 ● 音楽表現ゼミ：楽器演奏に必要な（様々な楽器に共通する）知識や奏法、表現方法について、生楽器や電子楽器を使ったアンサンブルを通して感覚的に理解し、読譜力、音感、リズムなどの基本的な音楽能力の向上を図る。 ● ウェブコンテンツ研究ゼミ：インターネット上で公開されているコンテンツを研究し、実際に制作を体験する。企画立案、撮影、音声収録、編集を経てウェブコンテンツを納品・アップロードするところまでを学生が主体となっていく。						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	企業インターンシップ				授業方法	実習	
開講年次	1年次	開講時期	後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	在学中の学生を一定期間、企業、団体に研修生としてお預けし、実務経験を踏ませる						
到達目標	実務経験を通じて、業界の現状を肌で知るとともに、社会人として自立するための心構えを醸成する。						
授業計画 学習内容	1.派遣先担当者との打ち合わせ 2.派遣先担当者からのブリーフィング （企業、団体の業務内容、インターン生の活動内容やルール等に関する説明） 3.指定された期間、場所での現場就業体験						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	1年次	開講時期	前・後期	授業時数	20	単位	—
担当教員	近藤 頌		担当教員 実務経験	—			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新入生オリエンテーション（シラバス／学則解説など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する詳細説明など						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	エンタテインメントコンテンツ制作各論				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	28	単位	1
担当教員	桑原康臣 巻島英司 磨知 隆 加島貴彦 砂川幸子		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載			
授業概要	プロフェッショナルとしてエンタテインメント業界の様々なコンテンツ制作に携わる講師による講話						
到達目標	エンタテインメント業界の様々なコンテンツに対する理解を深める						
授業計画 学習内容	●アニメ制作 / アニメ業界の職種・作品完成までの作業工程・画コンテの書き方等。担当：桑原（長年に渡りアニメ・ゲーム等映像コンテンツの企画制作を手掛ける） ●広告制作/TVコマーシャルの企画、制作までの流れ・演出手法等。担当：巻島（広告会社クリエイティブ・ディレクター。多くの企業CMを担当。全日本CMフェスティバル等受賞歴多数。） ●舞台制作 / ミュージカル制作に関する仕事内容・グッズ製作・デザイン・PR・コロナ禍における公演等。担当：砂川（長年演劇等の舞台制作の現場にて多くの作品を手掛ける。東宝(株)演出部。） ●映像制作 / 放送・イベント・コンサートにおける新しい映像コンテンツの制作演出手法について（プロジェクションマッピング、CG等）。担当：加島（映像プロデューサーとしてMV、TV-CM、Web動画等多くの作品を手がける。） ●ミュージックビデオ制作/ミュージックビデオ制作プロデュースとは・制作現場や運営の流れ・撮影から編集までの制作技法等。担当：磨知（音楽番組専門局のスペースシャワーを経て、現在（株）629代表取締役社長。多くのPVやライブ映像の制作技術全般のプロデューサー及び統括を行う）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	演習 クリエイティブソフトウェア実技Ⅱ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	永谷喜美雄 波多腰 英靖 高橋喜郎		担当教員 実務経験	担当教員の実務経験は授業計画学習内容欄の担当者名後に()内記載			
授業概要	コンピューターを道具とする考え方、その際の留意点等の習得を図る						
到達目標	・ AdobeCCの各アプリケーションでの作業習熟 ・ ProToolsを用いた作業、特にMA作業の習熟						
授業計画 学習内容	●Adobeプレミアを用いた映像編集／ソフトウェア使用法、作品・演出意図に合わせた編集法、画質調整、テロップ・エフェクト技法等 担当：永谷（(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。） ●Adobeフォトショッップ・イラストレーターを用いた画像編集/ソフトウェア使用法、写真加工・色調整、描画法、テキストの扱い方、画像サイズ管理等 担当：高橋（(有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集、プロモーションに従事。） ●ProToolsでのMA作業/音声の取込み、音声ファイル管理、整音技法等 担当：波多腰（2000年より録音スタジオ勤務を経て、レコーディングエンジニアとして活動中。1級舞台機構調整技能士。）						
成績評価 方法	100点を満点とし、実技試験、作品提出、ならびに、授業への積極的な参加状況を総合的に評価し、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	映像制作概論				授業方法	講義	遠隔
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	港郁雄		担当教員 実務経験	MAエンジニアとしてソニーPCL(株)に勤務。日本ポストプロダクション協会講師および映像音響処理技術者資格認定試験問題作成委員。			
授業概要	映像作品の編集から完成までの過程を映像と資料で講義						
到達目標	映像作品に関する職種や作業工程を知識として習得						
授業計画 学習内容	1.プリプロダクションとは 2.プロダクションとは 3.プロダクションの作業内容 / 演出・撮影・照明 4.プロダクションの作業内容 / 音声収録・CG,VFX合成 5.ポストプロダクションとは 6.MAとは 7.マスタリングとは 8.レポート課題作成						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	共通科目	
授業科目	映像音響検定講座Ⅱ				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	永谷喜美雄		担当教員 実務経験	(株)東京サウンドプロダクションにて長年映像技術者として勤務。現在フリーのビデオエディター。			
授業概要	映像・音響検定試験合格を目標に、極力身近な機材の話や実際のＴＶ番組制作の過程を折り込みながら興味深く解説をしていく。						
到達目標	検定試験受検者は資格取得。試験問題演習を行い、映像音響技術者に必要な知識を身につける。						
授業計画 学習内容	・ＴＶの原理／色彩と色温度。磁気記録の原理／ＳＤＴＶとＨＤＴＶ ・ＶＴＲのフォーマットとビデオ信号の種類，デジタルビデオとアナログビデオの違い ・ビデオ編集の実際（合成などを含めて） ・ＴＶ番組，ビデオ作品の制作過程（編集を中心に）						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	音場入門Ⅱ				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	32	単位	2
担当教員	中原雅考		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役			
授業概要	音場入門Ⅰの内容を踏まえ、物理音響に関する知識と理解を深める。						
到達目標	バーチャル38chスタジオをDAW(Reaper)の中につくり HOA（Higher Order Ambisonics：高次アンビソニック）で 3Dミックスを行う。室内の残響時間を測定し室内音響チャートを作成する。						
授業計画 学習内容	01. 仮想38chスタジオでの3Dミックス（概説、Reaper操作、実習） 02. デシベルの足し算 03. 二重音源（音響ダブレット） 04. 距離減衰と空気吸収 05. 鏡面反射，拡散反射 06. 吸音 07. 部屋の響きとは？ 08. 響きの重畳とインパルス応答 09. 幾何音響学 ～中域の世界～ 反射と位相干渉 10. 統計音響学 ～高域の世界～ 残響理論 11. 波動音響学 ～低域の世界～ モードと低域特性						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	立体音響演習				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	中原雅考		担当教員 実務経験	音響設計家として多数の音響スタジオ設計を手掛ける。(株)ソナ取締役			
授業概要	インパルスレスポンスの測定とFOAリバーブの作成を行うための解説を中心に立体音響への理解を深める。						
到達目標	インパルスレスポンスの測定とFOAリバーブの作成を行い、3Dミックスを作成する。						
授業計画 学習内容	01. インパルス応答の測定とFOAリバーブ作成 02. チャンネルベースではない OBA & SBA ミックス 03. 実習：FOAリバーブ採取 04. 実習：FOAリバーブ生成 05. 06. 実習：OBA & SBA ミックス 07. 再生環境セットアップ 08. ミックス作品発表 & 試聴						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 マスタリング				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	森崎雅人		担当教員 実務経験	長年マスタリングエンジニアとして従事。 TinyVoice,Rproductionチーフエンジニア。			
授業概要	音楽制作者の音の聴き方とリスナーの音の聴き方のちがいを理解したくさんの聴き きらべの実習を通して「ちがいが分かった」という体験をしてもらう						
到達目標	音楽を楽しんで聴くのではなく観察するように聴くという音楽制作者の音の聴き方 の基本を修得する						
授業計画 学習内容	・音楽制作者とリスナーの音の聴き方の違い ・リファレンス音源の選び方と使い方 ・モニタースピーカーの正しい置き方 ・GEQで帯域の特徴や楽器について理解する ・パラメトリックイコライザー.コンプレッサー.リミッターの基本と演習のプロと としての使い方のコツやヒントを伝授 ・総合演習でマスタリングのプロセフト音を仕上げる楽しさむずかしさを体験を通して 学ばせる ・それぞれの学生の個性を活かしての授業 ・お互いの音を比較しながら音を表現する・言葉の大切さコミュニケーションのきっかけなども 学ばせる						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与す る。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 MA				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	40	単位	1
担当教員	内村和嗣 田中有香		担当教員 実務経験	各教員の実務経験は授業計画欄に記載			
授業概要	「MA」という仕事を知る。 MA作業を行う際の心構えを知る。						
到達目標	活きた音を扱う気持ちを携える。						
授業計画 学習内容	・ MAとは ・ 学生の作品へのMAアプローチに関する提案、ディスカッション。 担当：田中有香 実務経験：1993年よりMA(映像音響)に従事。2003年に(有)サルミックス設立。 ・ MAとサウンドデザイン ・ 活きた音とは 担当：内村和嗣 実務経験：元NHKの音響技術者として勤務。スタジオ シエロフルソ。						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	実習 映像音響制作				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	60	単位	2
担当教員	水野博章 高橋喜郎		担当教員 実務経験	CM制作会社を経てフリーランス。ミュージックビデオ、パッケージDVD、舞台DVD演出等のプロデュース/ディレクションを多数手がける。（水野） (有)D.&A.MUSICにて長年CD・DVDのデュプリケートや映像編集に、プロモーション従事。（高橋）			
授業概要	グループ活動でのそれぞれの役割を理解し映像制作を行う						
到達目標	企画書やシナリオをグループ内で話し合い、作品を制作する中で制作ノウハウや撮影技術全般を習得する						
授業計画 学習内容	・ 授業概要 の説明 映像制作の流れ / シナリオの基礎 / 企画書の書き方 ・ 予算・スケジュール・キャスティング・ロケ地について ・ 香盤表および撮影スケジュールの組み方 ・ 撮影/照明機材についての基礎レクチャー 各種機材の説明・取り扱いについて ・ 編集およびMA作業を行って完パケフォーマットにする						
成績評価 方法	100点を満点とし、作品出来栄およびレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 マルチトラックレコーディング				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	22	単位	1
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	インラインコンソールを用いたマルチマイク、マルチトラックレコーディングの技術と手法について、9Fスタジオにて学ぶ						
到達目標	音楽録音スタジオ業務の体験をし、作業の流れを知る。 学生だけでマルチマイク・マルチトラックのレコーディングができる。						
授業計画 学習内容	ドラムのマルチマイク・マルチトラックレコーディング ボーカルのオーバーダビング エディット ミックスダウン						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 スタジオレコーディング				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	塩田修		担当教員 実務経験	レコーディングエンジニアとしてSony Music、その後はフリーランスで活躍			
授業概要	ミュージシャンをよび、実際の音楽レコーディングさながらの録音作業を行う。 ミュージシャンとのコミュニケーションの重要性を理解する。						
到達目標	ミュージシャンとのコミュニケーションを含め、学生だけでマルチトラックレコーディングができる。						
授業計画 学習内容	●機材・レコーディングプラン ●セッティング～回線チェック～サウンドチェック ●レコーディング ●オーバーダビング ●エディットとミックス						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点および提出物の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	PAシステムⅡ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	小松久明		担当教員 実務経験	PAエンジニア／サウンドデザイナーとして アーティストのライブ音響を多数手掛ける。			
授業概要	録音された音源を使い、アナログコンソールとデジタルコンソールのミキシング手法を学ぶ。 基本的な各楽器へのイコライゼーション、ボーカルへのエフェクターのアプローチを学ぶ。						
到達目標	良い音、素晴らしいミキシングを完成するよりも、音を扱う楽しさ、ミキシングの難しさを体験してもらい、ミキシングコンソールに対する理解を深める。						
授業計画 学習内容	1, ドラム、ベースのリズム楽器へのイコライゼーション、バランスの作り方 2, ギターのイコライゼーション、バンドミキシングのアプローチ 3, ボーカルのイコライゼーション、エフェクター（Reverb）の使い方。						
成績評価 方法	100点を満点とし、授業への参加姿勢およびレポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 ホールSRⅡ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	26	単位	1
担当教員	高橋宏幸		担当教員 実務経験	PAエンジニアとして(株)サウンドマン（現・(株)ミック スゾーン）勤務後、現在SRテックプランニング代表。			
授業概要	ホールに音響機材を仮設し、実際の業務を想定した音響実習を行う。						
到達目標	ホールでの音響業務を授業を通じて体験し習得する。						
授業計画 学習内容	・概要説明、機材プランニング ・ホール実習 搬入、設置、結線、スピーカーチューニング、回線チェック、 ステージセッティング、FOHエンジニア・モニタエンジニアの体験。 マルチトラック音源を用いたライブミキシング体験。 撤去～搬出						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60 点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 機器オペレーションⅢ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	24	単位	1
担当教員	高橋喜郎ほか		担当教員 実務経験	—			
授業概要	1年次授業の演習・実習内容と施設・機材の使用法を復習し、応用的な音響/映像/機材やPCソフトウェアの使用法をさらに学ぶ。						
到達目標	ソフトウェア等と専門機器それぞれを理解し、それらを組み合わせたシステム構築と使用法を習得する。						
授業計画 学習内容	PCソフトウェア種類説明 ・ photoshop ・ illustrator ・ ProTools ・ premiere pro ・ Media Encoder 学内スタジオ機器説明 ・ 音響ミキシングコンソール(アナログ卓・デジタル卓・タブレット/PC型) ・ 映像収録用カメラ/照明機材の種類について ・ 撮影素材のデータ変換および取込みの方法 映像作品の制作実施 ・ コンクール用ショート映像コンテンツ						
成績評価 方法	100点を満点とし、筆記試験・実技試験・レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	演習 コンクール審査音源制作Ⅱ				授業方法	演習	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	1
担当教員	見上陽一郎		担当教員 実務経験	1995年より多数のクラシック音楽を録音			
授業概要	外部から委託されたコンクール応募用音源の収録、ミックス、編集、納品						
到達目標	音声／動画収録、ポストプロダクションのノウハウと同時に、演奏家が安心して演奏に集中できる雰囲気づくり方も身につける						
授業計画 学習内容	(1) 収録システムプラン作成 (2) 仕込み (3) 収録／ミックス (4) 必要に応じて編集 (5) マスタリング／オーサリング (6) 納品						
成績評価 方法	100点を満点とし、取り組みの様子、提出物の出来栄および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ビジネス実務				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	16	単位	1
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	就職活動や就業時のマナー、書類作成に関するスキルの向上をはかる						
到達目標	基礎的なビジネスマナーの習得						
授業計画 学習内容	・採用担当が就活生に求めるものとは ・自己分析 ・自己PRとは ・ビジネスメールのマナー ・電話対応のマナー ・模擬作文試験 ・ポートフォリオ作成						
成績評価 方法	100点を満点とし、授業への参加姿勢・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ゼミナール				授業方法	実習	
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業時数	60	単位	—
担当教員	各担当		担当教員 実務経験	—			
授業概要	ゼミナールは原則として金曜日の午後に実施し、昼間部学生は下記より1つを選択することができる。各ゼミナールの定員は10名。						
到達目標	各ゼミナールの到達目標は下記の授業計画学習内容に記載。						
授業計画 学習内容	● 工学ゼミ（資格取得研究会）：第一級陸上特殊無線技士、第二級陸上無線技術士などの、資格取得のための研究会。電気回路、電子回路、無線工学、法規を学び、問題集を使う。マスコミ、放送局に就職するための有利な条件になる。 ● 録音・SRシステムゼミ：業務用機器を対象にその調整や測定法などを習得して、機器の基本的構造・性能を熟知すると共に、新しい技術やシステムに対する理解を深める。また、ミキシング実習を通して実務に必要な音楽センスやサウンド処理技術を学ぶ。 ● 英会話・国際交流ゼミ：ゲームなどを通して楽しく英会話を学び、英語での簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目的とする。また、東京在住の外国人が参加するイベントやパーティーにも機会をとらえて参加する。なお、ゼミ中の日本語使用は原則的に禁止。 ● ボーカルトレーニングゼミ：歌の練習を通じて、歌唱力の向上はもとより、アーティストのみならず、音に関わる仕事すべてに必要な「音感」を養う。 ● 映像ゼミ：ショートムービー制作を行う。各自の企画から優れたものを選び、映像制作の工程を学ぶ。脚本や画コンテを作成し、監督をはじめとする各役割を分担し撮影作業を進める。ポストプロダクション作業を経て作品を完成させる。 ● 演劇ゼミ：ゼミ発表会に向けて、芝居に必要な体力作りや舞台の作り方を学ぶ。音響・照明・美術・衣装・メイクなども自分たちで考え本格的な芝居作りに取り組んでいく。 ● 音楽表現ゼミ：楽器演奏に必要な（様々な楽器に共通する）知識や奏法、表現方法について、生楽器や電子楽器を使ったアンサンブルを通して感覚的に理解し、読譜力、音感、リズムなどの基本的な音楽能力の向上を図る。 ● ウェブコンテンツ研究ゼミ：インターネット上で公開されているコンテンツを研究し、実際に制作を体験する。企画立案、撮影、音声収録、編集を経てウェブコンテンツを納品・アップロードするところまでを学生が主体となっていく。						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	2年次	開講時期	前・後期	授業時数	16	単位	—
担当教員	高橋喜朗		担当教員 実務経験	—			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新学年オリエンテーション（シラバス／学則の説明など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する説明など						
成績評価 方法	—						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	実習 ライブレコーディング				授業方法	実習	
開講年次	3年次	開講時期	前・後期	授業時数	120	単位	4
担当教員	見上陽一郎 楠元剛史		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画欄に記載			
授業概要	ライブコンサートの録音、編集、マスタリング						
到達目標	ライブレコーディングの機材準備、設営手順や注意点、実際の収録、ポストプロダクション業務を主体的に行える知識と技術を身につける						
授業計画 学習内容	(1) 収録音響プランの作成 (2) 収録機材準備 (3) 機材搬入～設営 (4) サウンドチェック (5) 収録 (6) 機材撤収～搬出 (7) 機材戻し (8) ミックス (9) マスタリング (10) 納品 担当教員の实務経験： 1995年より多数のクラシック音楽を録音(見上) 2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務（楠元）						
成績評価 方法	100点を満点とし、参加姿勢および出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	音響コーチング演習				授業方法	演習	
開講年次	3年次	開講時期	前・後期	授業時数	32	単位	2
担当教員	見上陽一郎 楠元剛史		担当教員 実務経験	担当教員の实務経験は授業計画欄に記載			
授業概要	1、2年生の授業の助手を務める						
到達目標	初心者、初級者を対象とした指導における効果的なコーチング技法を身につける						
授業計画 学習内容	指導担当教員の指導のもと、PA/レコーディング系の演習や実習科目に助手として参加する。 担当教員の实務経験： 1995年より多数のクラシック音楽を録音(見上) 2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務（楠元）						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・出席点の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	研究課題制作Ⅰ				授業方法	実習	
開講年次	3年次	開講時期	前期	授業時数	360	単位	12
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	これまでの学びを活かし、企画した課題に取り組み、作品を完成させる。						
到達目標	自分本意ではない作品制作と完成品の提出。						
授業計画 学習内容	企画 制作 作品提出 合評						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・合評内容および提出物の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	専門科目	
授業科目	研究課題制作Ⅱ				授業方法	実習	
開講年次	3年次	開講時期	後期	授業時数	360	単位	12
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	2001年～：音楽レコーディング業務。2009年～2011年：レコード会社制作部にてディレクター業務。			
授業概要	これまでの学びを活かし、企画した課題に取り組み、作品を完成させる。						
到達目標	自分本意ではない作品制作と完成品の提出。						
授業計画 学習内容	企画 制作 作品提出 合評						
成績評価 方法	100点を満点とし、レポート・合評内容および提出物の総合評価で行い、60点以上に単位を付与する。						

学科	音響・テクニカルアーティスト科				系列	総合・その他	
授業科目	ガイダンス				授業方法	講義	
開講年次	3年次	開講時期	前・後期	授業時数	8	単位	
担当教員	楠元剛史		担当教員 実務経験	—			
授業概要	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する指導、情報提供						
到達目標	受講、学校生活、インターンシップ、就職活動などに関する理解を促進し、学生が安心して就学できるよう支援する						
授業計画 学習内容	1. 新学年オリエンテーション（シラバス／学則の説明など） 2. 重要度の高い新規カリキュラム開始にあたってのオリエンテーション 3. インターンシップ、アルバイト募集、就活促進等に関する説明など						
成績評価 方法	—						